

発行者 社会福祉法人養和会 東京都八丈島八丈町大賀郷 7670-1
tel 04996-2-0770 fax 04996-2-0432

第17号

リーダーの責任とは

理事長 沖山 芳清

企業で不祥事や事故が起きると、トップがそろって頭を下げる映像がテレビから流れてきます。どの企業も同じようなスタイルです。驚いたことに、近頃は開き直りや責任転嫁も見受けられま

す。それにしても、「想定外」「現場任せ」「コンプライアンス軽視」「知らなかった」などなど。成熟した企業文化において、組織力の劣化、リーダーの責任とは何かが問われていることは、間違いないようです。

養和会を利用するお年寄りは、世間様や家族に迷惑をかけたくないという時代を生きた方々です。やつとホームに入れてもらった、ありがたい事だ。文句などいっただら罰が当たる。こんな風に思っているのでしょうか。

施設サービス提供の基本は、心身共に衰えた利用者者の「心の声」を聞くことです。そして利用者者の皆さんに、安心して豊かな日々を過ごしていただくことです。

そのためのリスクマネジメントは、「安全は安心で豊かな生活の基礎」という理念です。防火対策や自然災害対策などの防災対策とともに、快適な生活環境の施設整備にも万全を期しています。また、介護サービスの質を高める実践では、床ずれなどの「褥瘡予防」、トイレで排便をする力を取り戻す「おむつゼロ」への取り組み。リハビリテ

ーション、口腔ケア、認知症ケアなど、熟練した職員と若い職員が一体となって、確かな成果を上げています。

一方で、経営トップがどのような「制度観」をもっていかかわられます。私の理事長としての基本姿勢は以下の通りです。

- 1、養和会の存在意義・使命（ミッション）を明確にする。
 - 2、経営理念・行動規範を職員全体のものとして、浸透させる。
 - 3、将来に向けて、継続的に人材を確保し、設備を整え、資金を管理する。
 - 4、養和会で働くことの意義、未来を語り、職員の動機づけをする。
 - 5、世の流れを見据え、地域に信頼される養和会の未来を描いていく。
- そしてなによりも、私たちの仕事は、「対人サービス」であるなしに関わらず、職員一人ひとりが道徳や倫理、人としての当たりまえのルールを、大切にすする人生を学んでもらいたいと考えています。
- 養和会は、八丈島における高齢者福祉・介護現場のリーダー的役割を自覚し、「地域包括ケアの拠点施設」としての責任を担ってまいります。皆さまのお一層のご協力とご理解をお願いします。

◎アクティブ福祉 in 東京13で発表

10月3日(木)京王プラザホテルにて高齢者福祉研究大会に第二八丈老人ホーム介護職員の佐々木友和・奥山仁美が参加し「オムツ0への取り組み」をテーマに研究発表を行いました。大勢の方が参加して下さい、有意義な発表が出来ました。(以下発表要約)

おむつ0への取り組みは 利用者の心地良さの向上・職員間の 排泄ケアの意識統一につながる!!

当施設の排泄ケアは、2人介助等利用者に安楽な方法での移乗を行ってきました。

その中でも、出来る限りトイレに座れるならトイレで排泄して頂く。職員の中には「座って頂くのはいいが、何か辛そう」「無理して介助していく事で逆に負担になっているのでは？」という意見も多くありました。一歩引いて考えてみると、トイレに座って頂く事が目的になっているという点に注意が向きました。

そこで、研究前のケアの焦点はどこだったのか？考えてみました。座位保持能力等から考えて、トイレで排泄が出来るかどうかギリギリの人をいかにしてトイレで排泄して頂くかが一番のテーマで、現在オムツの人に より快適になってもらうにはどうしたら良いかという視点が無かった様でした。

研究前は布パンツ・オムツ・リハビリパンツの方、全てトイレでの排泄を目指していました。

本研究ではリハビリパンツ・オムツの方にまず布パンツを目指してみようかと考えました。当施設では研究前も「オムツ0」の取り組みを行っていましたが、職員は「何でオムツ0をする必要があるの？」等、様々な考えがありました。オムツを使用しない状態を達成するには、この心理的壁を乗り越えて行かなくてはならないと思いましたが。

それを踏まえた上で、目的に次の2つを挙げました。職員間のケアの意識を統一する事で「オムツ0」ケアの向上を目指すこと。布パンツの使用を促し、その必要性や快適さを職員側にも気づいてもらい、ケアの意識統一につなげていくというものでした。

対象者は46名で、割合はリハビリパンツ18名、オムツ8名、布パンツ20名(布パンツ20名の中には自ら布パンツへの変更を好まない方(4名)も含まれます。方法は全体の方向性として、2か月間周知の期間を設けました。そこでこの取り組みについて徹底して周知しました。次に効果が出やすいと考えられたリハビリパンツの方4〜5名を布パンツへ変更しました。心地良さという観点を職員にも実感して頂き、ケアに関する意識の統一を図りました。導入したのはマジックテープ付布パンツ「ソフィットガード」です。これは布パンツでありながらオムツの様に開く事が出来るので、オムツと似たような感覚で使う事ができました。

今回のポイントは家族と職員をうまく巻き込んだ点でした。人間の心理上「人は他人から指示されると、自らやるうとは考えないが、自分でや



当養和会は多くの皆様から、現金、野菜、花、その他施設に有用な物品などの寄付を頂きました。

左記にご氏名を掲載し、ご芳志に厚く感謝申し上げます(本年4月から9月まで、順不同、敬称を略させて頂きます)。

- 相浦 元彦 笹本 澄子
- 赤星 弘子 笹本 長利
- 赤松 保吉 笹本 義忠
- 秋田 友子 佐藤 千鶴子
- 秋田 裕康 佐藤 南海子
- 浅沼 和子 佐藤 ヤツヨ
- 浅沼 敬多郎 樹海荘
- 伊奈 京子 立川 四郎
- 上野 裕美 田中 一広
- 内山 江差夫 辻 良子
- 宇山 勝子 土方 勇
- 大石 美輪子 豊島 エル子
- 大沢 直美 内藤 保
- 大沢 まきえ 中曽根 松江
- 大沢 正雄 西野 直樹
- 沖山 光男 橋本 幸彦
- 奥山 勲 平戸 和子
- 奥山 英仁 盲目 平次郎
- 奥山 利平 丸山 信男
- 小栗 としみ

ろうと決めたことは比較的取組やすい」という点があると言われています。

そこで、事前に家族に伝えていく事、家族に伝えている事や、実際にやった方が良いか等職員と検討して行く事で行動する事を決めていくようにしました。また重要な点として、オムツかトイレかという考えではなく、トイレでなくても快適に過ごして頂くには、という視点に変えた事でした。この視点を考える事が出来た為、布パンツの活用によってオムツの方でも快適になつて頂く事ができました。

その結果、自らリハビリパンツが良いと本人の希望がある方4名以外は布パンツに変更できました。実質的には100%布パンツに変える事が出来ました。職員間のケアの認識は、研究前は目的が「トイレに座って頂く事」でした。研究後は、ご利用者に心地よくなつて頂く事であり、その一つとしてトイレに座って頂く事も重要という認識になりました。

職員の共通認識として持つことが出来たおかげで、単に定時にトイレに座っているからOKではなく、バットが濡れている事をいかに短くするかという点にも注意が向けられる様になりました。

なぜ研究前は「オムツ0」が達成出来なかつたのに、今回オムツ0・全員布パンツに変更が達成できたのか？ポイントとは2点。研究前は委員会等で決めた事をすぐに「○○やって」という形で職員に伝える事が多かったが、2か月間、周知期間を設け、家族にも説明しその結果も見届けて頂ける様にした点。また職員にも決まっている事を伝えるだけでなく、どの様に思うか等意見を求めた

点が研究前と異なりうまくいった要因の一つと考えられます。更に要因の一つとして、今回オムツ使用者というやや難易度が高いと思われるご利用様からではなく、リハビリパンツ使用者を対象に数名単位で行う事で職員側も負担無く、かつ実際に効果を出す事が出来たと考えられます。



◎スロットマシン◎

7月17日から20日の日程で、日本電動式遊戯機工業組合・回胴式遊技機商業協同組合の皆さんがパチスロレーニングやカラオケのボランティア活動の一環である老人福祉施設キャラバンとして大型バスにより来訪していただきました。

入所者の皆さんと島内のデイサービスの利用者が体験させていただき、楽しい時間を過ごすことができました。

これが御縁でスロットマシンを2台寄付していただき、利用者の皆さんが楽しんでいます。ありがとうございました。

○お願い○

ホームでは布が不足しています。使用済み綿生地やシート・タオルがありましたら寄付をお願いします。

長田 常美 水谷 良生
 小沢 三井 明林 由美子
 鬼形 和子 山下 陽照
 川上 石健 山下 哲子
 菊池 明美 山下 伍郎
 菊池 順子 (山下食品)
 菊池 スミ 山下 忠宏
 菊池 千代 (八丈ナーセリー)
 菊池 肇 あおぞら会
 菊池 博美 (あおぞら保育園)
 菊池 正敏 三根婦人会
 菊池 政代 大賀郷婦人会
 菊池 由身 中之郷婦人会
 菊池 善崇 末吉婦人会
 小山 貴子 日本絵手紙協会
 佐々木 アツコ フェニックス
 東里老人クラブ
 金土川老人クラブ
 東京都食肉生活衛生同業組合
 八丈島支部長 大沢章良
 八丈島警察署内ほうべい園
 シルバー人材センター

百歳のお祝い

9月の敬老月間に今年度百歳になられる方4名のお祝い実施しました。

沖山美津穂さん
菊池トクエさん
奥山 サチさん
安保アサノさん

総理大臣・東京都知事よりお祝いと記念品をいただきました。
施設内でも来賓やご家族、職員と一緒に島ずしに舌鼓をうち、賑やかなひと時を過ごしました。



お祝いの会の集合写真

介護の日交流会

養和会では 11月11日（介護の日）に、利用者と家族及び職員との第2回交流会を開催しました。
模擬店の昼食の後、皆さんでカラオケ、踊り、太鼓等で楽しい交流会がおこなわれました。



介護の日表彰



- ◎ 一般表彰
 - 永年ボランティア 松本重子 菅沢栄
 - 太鼓講師 浅沼亨年
 - 茶道講師 菊池周子
 - 農作物寄贈10年以上 菊池スミ
 - ◎ 理事表彰
 - 田代典夫
 - ◎ 職員表彰
 - 勤務15年以上の永年勤続表彰 村松康子 奥山恵 伊勢崎健一 岡野睦美 石井恵 菊池恵子
- 有難うございました。
（敬称略）



第1回介護職員初任者研修

(旧2級ヘルパー研修)

八丈町が2級ヘルパー研修を実施して4年が経過しており、住民からの研修実施の要望が強く、八丈町からの要請もあり、地域貢献及び講師を養和会職員が実施することによる人材育成を目的として実施しています。

21名の受講生が10月～来年3月迄に130時間の講義を受け資格取得に励んでいます。

◆◆ ヘルパー勉強会 ◆◆

10月9日(株)近澤製紙所の竹垣氏を講師に迎えオムツの当て方勉強会を実施しました。ベッドで実際にオムツを当ててもらい利用者の気持ちを体験しました。

自宅で快適に過ごすことができるように実施していきます。



◎ ユニフォーム ◎

今年度から名前入りのユニフォームを統一しました。利用者さんには分かりやすいと好評です、職員の一体感が醸成されれば良いなと思います。



◎ 感染症対策のお願い

デイホーム、ショートステイのご利用の方と、面会の方へお願い

感染症が島内で流行した場合は、施設内での感染・流行を防止するため施設に来所される時は、左記のことをお願い致します。

○ 来訪時は手洗いと、備え付けの消毒液での手指消毒及びマスクをしてください。

○ 発熱やセキなどの症状がある方の来訪はご遠慮くださるようお願い致します。

また、施設内で感染症が発症した場合は、原則として、デイホームとショートステイの事業は休止になります。

あっとほーむ



○夏祭り 8月9日 老人ホーム夏祭りが行われました。多くの地域の方々にご参加頂きました。利用者も踊りに参加し大変盛り上がっていました。



○三原中交流会 7月11日 2年生が来所され島言葉での自己紹介の後、利用者と一緒にクラブ活動に参加し最後に琴の演奏をしてくれました。



○スイカの寄贈 8月10日 ほうべい園の子供たちから、大きなスイカをいただきました。甘いスイカに大喜びでした。



○ふれあい 8月18日 夏休みに小学生が遊びに来てくれました。かわいい子供達に利用者も嬉しそうでした。



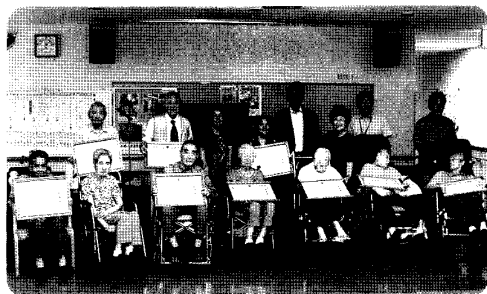
○歌とピアノ 7月24日 「八丈島夏まつり」に出演した木下航志さんが来所され、ピアノと歌の披露をしてくれました。すてきな音色を楽しみました。



○スポーツ祭東京2013 8月22日 高校野球(軟式)の参加者に配布する記念品「黄八丈しおり」をおもてなしの気持ちを入れてSC・養護利用者が作りました。



○浜遊び 7月26日 大潟浦でバーベキュー・太鼓・スイカ割りを行いました。笑顔溢れる1日でした。



○90歳表彰 9月2日 90歳になられた方に、八丈町長が来所されて表彰状を渡されました。



○運動会 10月20日 ミニ運動会、玉入れ競争で真剣勝負です。



○養護ピアガーデン 9月6日 皆さん楽しみにしていた行事です。ビールの味が格別だったようです。



○草取りボランティア 11月8日 地域の方が花壇の草取りをしてくださいました。きれいな花壇に変身しました。

○月見会 9月17日 特養利用者、家族の皆さんと月見会を楽しみました。カラオケで盛り上がりました。



○商工会女性部 10月17日 女性部の方が年1回歌と踊りを披露して下さい、利用者の方を楽しませてくれます。



○太鼓クラブ 11月8日 八丈島太鼓のクラブ活動です。利用者の太鼓は心にしみます。

○おみこし 10月20日 大神宮のおみこしが来てくれました。若者の力強い「わっしょい・わっしょい」に元気をもらいました。



給食部門

食事は利用者の一番の楽しみです。季節を感じ八丈島の郷土食を取り入れた楽しみのある献立をモットーに、栄養士2名、調理員16名でおいしい食事を食べていただけるよう、ソフト食やペースト食も取り入れ日々努力しています。



調理仕込み



大鍋で調理



盛りつけの様子



配膳車に載せて...



食堂へ運搬



食器の洗浄

ボランティア募集しています

内容は：
お話相手・散歩の付添・
洗濯たたみ・清掃その他
なんでもあります。
ホームに見学にいらして
下さい。

職員を募集しています

- 看護師
常勤・非常勤 勤務時間等相談
に応じます
- 機能訓練指導員
資格Ⅱ理学療法士、鍼灸マツサ
ージ師、看護師、准看護師
- 社会福祉士
- 介護職員
- ホームヘルパー

採用予定日

平成二十六年四月一日

お問い合わせ先 養和会

04996(2)0770

